

東京都排出量取引セミナー

総量削減義務と排出量取引制度 取引価格の参考気配について

2020年6月

みずほ情報総研株式会社

環境エネルギー第1部 地球環境チーム

シニアコンサルタント 齊藤 聡

akira.saito@mizuho-ir.co.jp

<https://www.mizuho-ir.co.jp/index.html>



査定の方法

- 以下の方法により、東京都の総量削減義務と排出量取引制度における取引価格の参考気配を査定

「査定」とは、市場参加者を対象にしたヒアリング調査によって収集された情報を基に、査定者が「標準的な取引」の価格を推定すること。実際の取引価格の統計ではなく、適正な取引価格を決定するものでもない。

項目	内容
時期	2020年1月～2月
方法	① 排出量取引を行い得る制度対象事業者（売り手と買い手の双方）及び仲介事業者を抽出 ② 合計13社に対し、取引意向、取引価格、市場概況等に関するヒアリング調査を実施 ③ ②の調査結果に基づき、「標準的な取引」（詳細は次頁）における価格水準（査定価格）を推定
査定主体	みずほ情報総研株式会社

査定結果

東京都温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度における クレジット価格
の査定値(2020年3月時点)

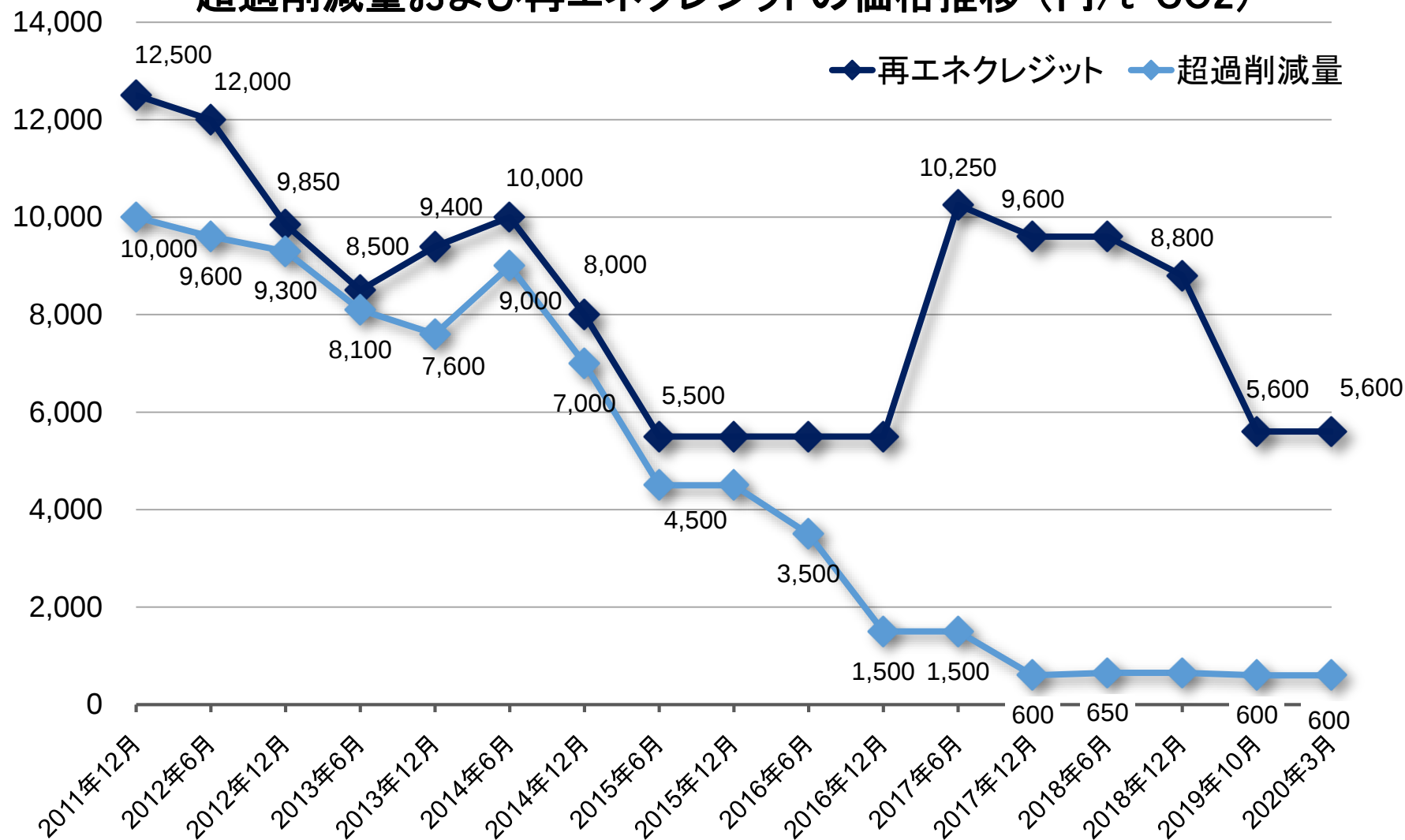
クレジット	査定価格帯	(参考) 2019年10月時点の査定価格帯
超過削減量	200～1,000 円/tCO ₂	200～1,000 円/tCO ₂
再エネクレジット	4,800～6,400 円/tCO ₂	4,800～6,400円/tCO ₂

【留意点】

- ✓ 実取引における価格は売買当事者が交渉の結果決めるもの
- ✓ ここで示す査定価格は前述の標準的な取引が実施された場合に想定される約定価格の推算値であり、実際の取引価格は、取引形態、特に取引ロットの大小によって、ここで示す推算値と大きく乖離する可能性がある。
- ✓ 再エネクレジットの査定価格は、主にグリーン電力証書の参考価格等から推計

これまでの査定価格の推移

超過削減量および再エネクレジットの価格推移（円/t-CO₂）



ヒアリング調査の結果

買い手の状況

- 第二計画期間の最終年度を迎え、義務履行に向けたクレジット購入の準備に着手する動きが見られる。
- 「買い」行動は本格化する前であり供給過多。また、小規模な「買い」ニーズはまだ少ない。そのために価格を引き下げの一因となっている。

売り手の状況

- 第二計画期間の履行期限を見据え、第一計画期間のクレジットの売却が優先的に指向されている。
- 売却可能性や価格条件等を考慮して、保有クレジットの寄付や無効化が比較検討の対象となってきた。

取引を想定するクレジットの種類

- 買い手は、クレジットの種類よりも価格を優先するが多い。
- 再エネクレジットも保有している売り手は、超過削減量よりも再エネクレジットの売却を優先する。